



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年3月②
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆醍醐寺→(勸請)→長安寺

「醍醐の花見」という言葉をお聞きになったことがあるかと思います。豊臣秀吉一世代の催し物として知られています。

時は秀吉が亡くなった慶長3年(1598年)春、場所は京都市伏見区にある醍醐寺。

醍醐寺観音堂は、西国三十三ヶ所霊場11番札所です。ご本尊は准胝観音。

醍醐寺と長安寺のつながりを示すものがあります。それは観音堂正面の観音扉の左に掛けられた木札に「西国十一番」と書かれていることです。

「勸請する」という言葉があります。神仏の霊や尊像などを寺社に新たに迎えて奉安するという意味です。

西国三十三ヶ所霊場は、和歌山、大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、岐阜と2府5県 総距離 1000 kmを越える日本最古の、そして多くの信仰を集めた観音霊場です。もちろん今もです。

しかし、経費もたくさんかかりますし、お年寄り、女性など体力からも遠路お参りできない人もたくさんあったことでしょう。そのために勸請してお祀りしたところがたくさんあったようで、長安寺観音堂もその一つと考えられます。

長安寺観音堂以外に西国三十三霊場から勸請された観音様がどこに祀られているかなどの情報はつかんでいません。



勸請の時期や経緯もわかりませんが、江戸期に描かれたものと考えられる本堂西室中の准胝観音画は、もしかしたら関係あるかもしれません。それは左記のとおり、十一番醍醐寺観音堂ご本尊は准胝観音だからです。

醍醐寺観音堂にお参りし、いただいた御朱印



ここに「西国十一番」と書かれた木札がかかっています。



醍醐寺は世界文化遺産・京都の一寺院で、建物や庭園、またそこにある文化財など見どころ満載のお寺です。

花見の時期には、現在も境内に1000本もあるという桜を愛でに多くの人がお出かけになるそうです。皆様もおでかけになりませんか。

